

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 1 月 9 日作成)

小委員会名	地盤基礎系振動小委員会		主 査 名：新井 洋 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (振動運営委員会)		委員長名：塩原 等 主 査 名：長島一郎
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	建物と地盤の動的相互作用 (SSI) に関する研究の推進と成果の公表・普及 初年度：地震被害・観測・実験・解析・設計の事例収集分析 2 年度：地盤震動小委員会と共同で地盤の地震動増幅問題を議論 3 年度：地盤増幅を含め SSI を設計に導入する上で必要な検討の明確化と推進 4 年度：成果の総括とシンポジウムの開催および今後の展望と課題の抽出		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：新井 洋 (建築研究所) 幹事：藤森健史 (大林組) 委員：柏 尚稔 (国土技術政策総合研究所), 木村 匠 (清水建設), 酒向裕司 (小堀鐸二研究所), 石崎定幸 (大成建設), 高橋広人 (名城大学), 田村修次 (東京工業大学), 中溝大機 (日建設計), 永野正行 (東京理科大学), 護 雅史 (名古屋大学), 吉澤睦博 (竹中工務店), 吉田洋之 (東電設計)		
設置 WG (WG 名：目的)	動的相互作用効果編集WG：前身の小委員会で作成を進めてきた建物と地盤の動的相互作用に関する資料について、内容を精査するとともに、とりまとめを行う。		
2018年度予算	270,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s45/JibanKisoHP.html	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	1. PD：震災の教訓を如何に地震動・地盤・基礎の研究に活かすか (地盤震動小委員会と共同) 参加者数 241名 『構造部門(振動)パネルディスカッション資料：同上』
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 地震被害・観測・実験・解析・設計の各面において関連する調査の実施や企画の立案を行うことで SSI 研究の推進に貢献 2. 特に 2016 年熊本地震の調査・研究により学会・社会に貢献
委員会活動の問題点・課題	1. 若手の研究者・設計者の育成 2. 既刊本のフォローを含む新規刊行物の企画・作成 3. 関連する他の委員会との情報共有・意見交換と合同活動